



栺田新洞水路橋



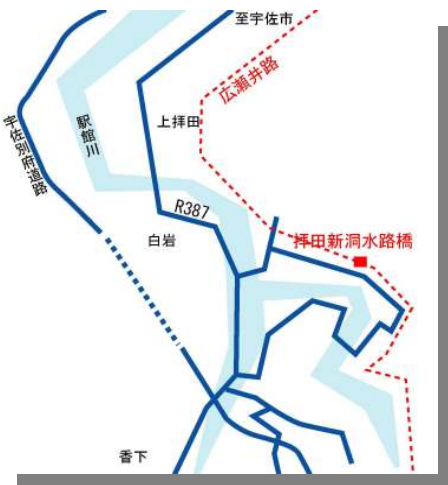
平坦部の水路

information

広瀬井路は、宝暦元年(1751)宇佐神宮庁が社費により麻生善右衛門が所掌して開削工事を実施したに始まる。しかし、掛樋やトンネルの崩壊など難工事のため到底人力の及ぶところではないと断念した。さらに、文化11年(1814)から文政4年(1821)の8年間に渡り富田久兵衛と矢野興兵衛が協力して起業を企てたが、資金難により不可能となった。

2回の起業に挫折してまもなく塩谷大四郎が土木の達人と言われた広瀬淡窓の実兄久兵衛を要して文政11年(1828)に工事着手、天保6年(1835)に全線開通させたが、通水を試みたところトンネルの崩落など施設の不備が多く、完成を見ることはなかった。

文久元年(1861)、南一郎平が26歳の時、実績のある広瀬久兵衛の資金援助を受け着工また、日田代官所高田役所等から公金を借用を受けるなど苦勞の末、明治元年に通水式を迎えることができた。



お問い合わせ	宇佐市大字閣437 宇佐土地改良区 TEL0978-32-0829 FAX0978-32-0836
--------	--